2022年７月15日（金）

第62期（2023年３月期）
第１四半期決算説明会

（2022年４月１日～2022年６月30日）

代表取締役社長　最高経営責任者（CEO）　保木　潤一
取締役　管理本部長　川久保　秀樹

HOGY

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

HOGY

業績の概要

HOGY

第62期（2023年３月期）第１四半期損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	21.6 61期1Q実績		22.6 62期1Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	8,895		9,447		551	106.2%
営業利益	1,492	16.8%	1,857	19.7%	365	124.5%
経常利益	1,495	16.8%	1,843	19.5%	348	123.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,089	12.2%	1,304	13.8%	214	119.7%
EPS	36.65円		53.77円			

HOGY

4

■増収増益

売上高　：＋551百万円（6.2%増）

：プレミアム、ブリスターキットの販売は好調

：前年度の新型コロナ等による売上減少の反動増加

：特需（ガウン、プリコーション、マスク等）の反動減小が終了

営業利益　：＋365百万円（24.5%増）

原価　－56.7%(前年比▲0.8pt)

－在庫製品の評価影響

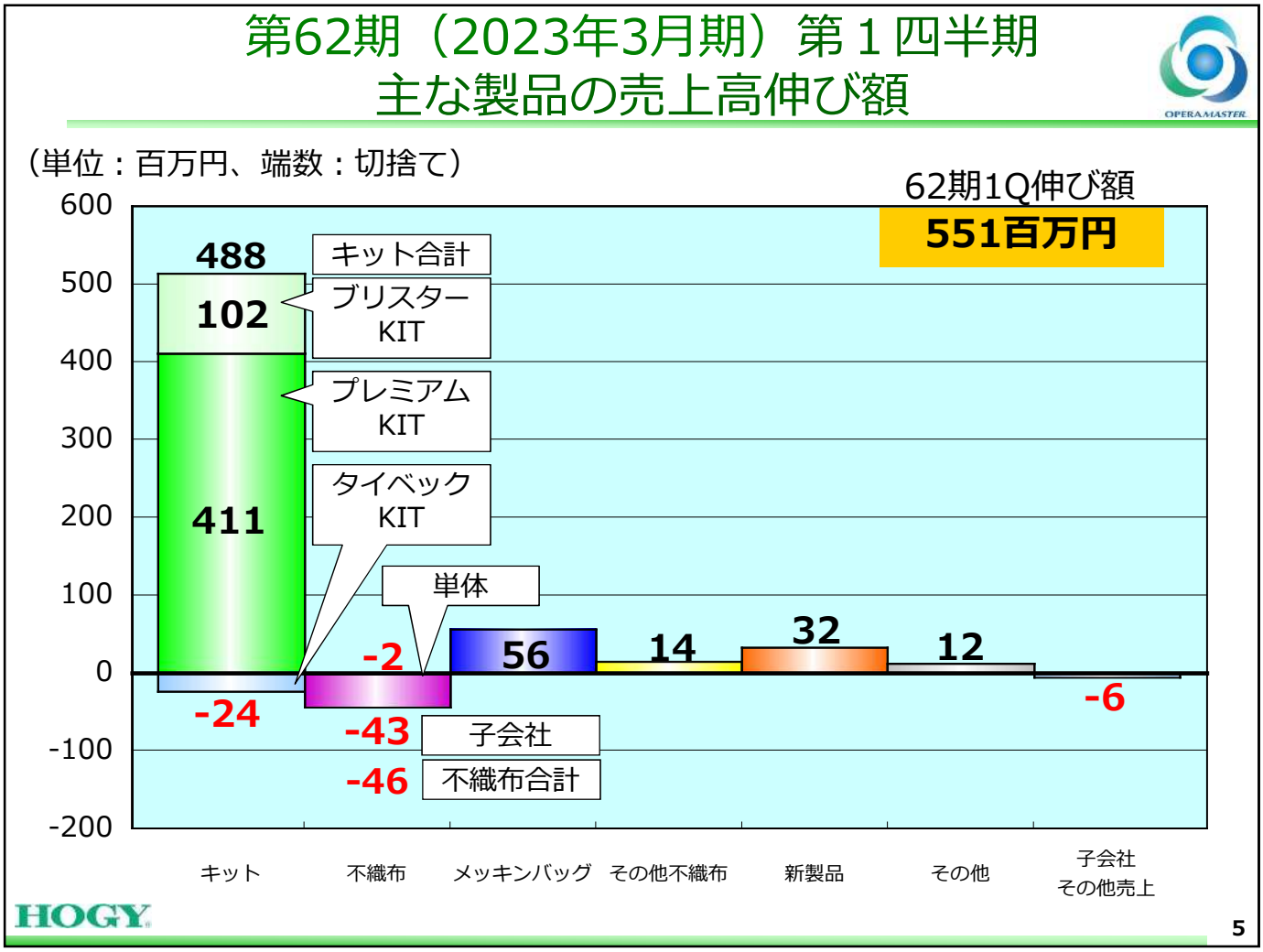
－円安の影響により原価上昇（為替予約により軽微）

－償却費の減少

販売管理費　－ △55百万円（2.4%減）

－償却費、試験研究費の減少

経常利益　：＋348百万円（23.3%増）

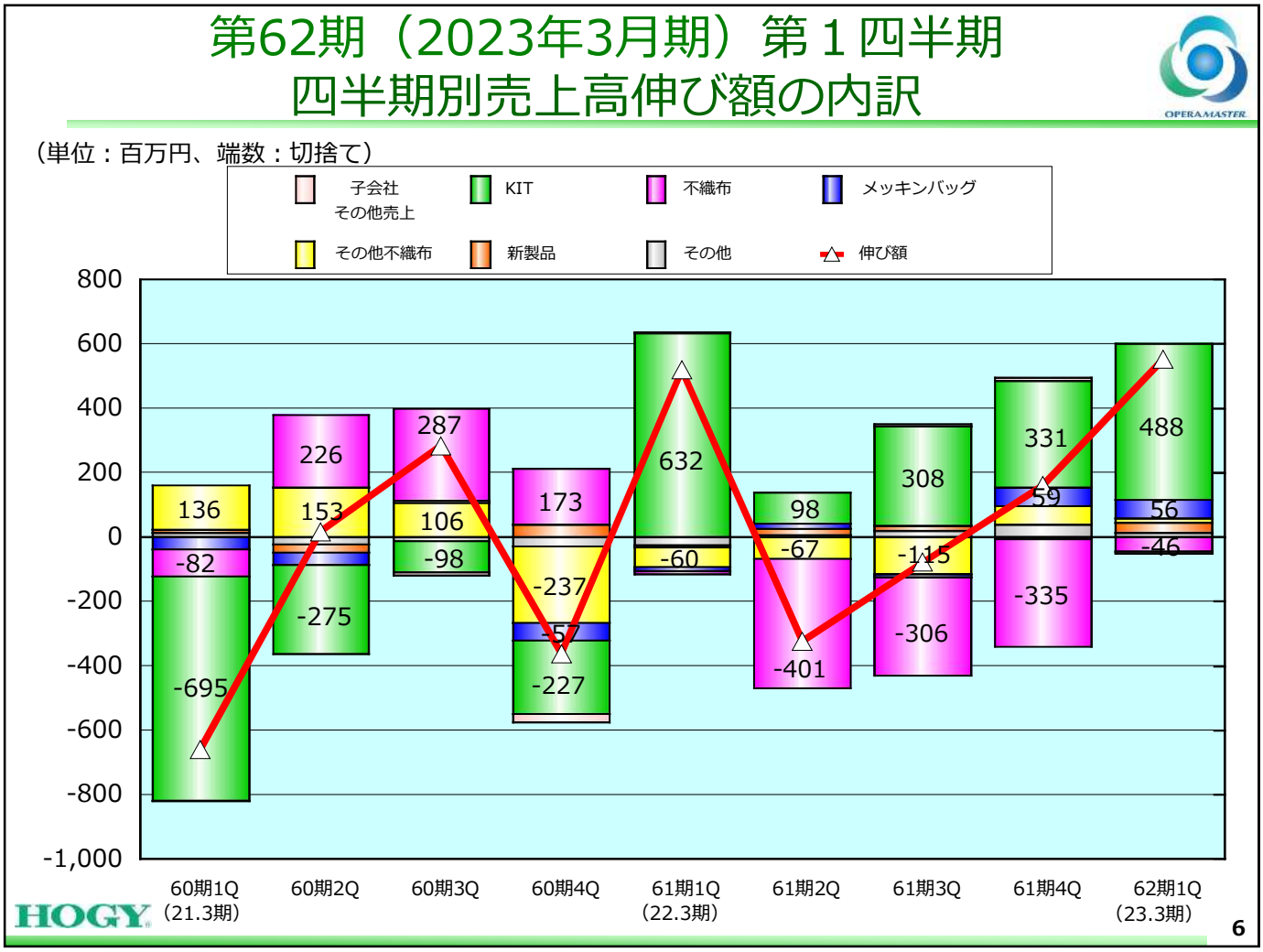


・**プレミアムキットは販売に注力した結果、前年比23.5%増加**

＊弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「ブリスターキット」の合算を記載しております

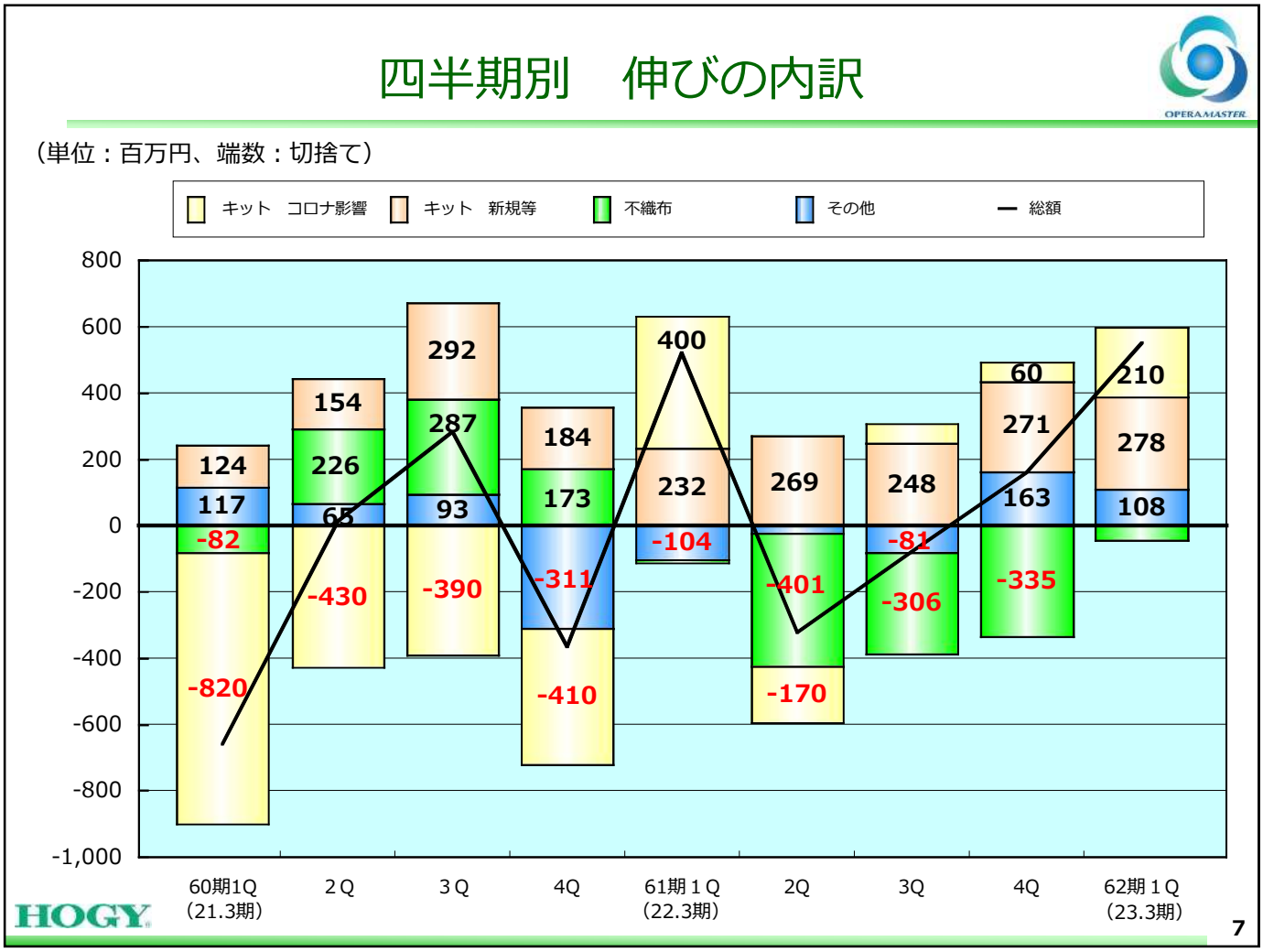
・前期の新型コロナによる売上減少の反動により、当期はKIT製品が反動増加（一部施設では新型コロナが発生すると手術件数が減少(延期)）

・タイベックキットのマイナスはプレミアムキットへの置換



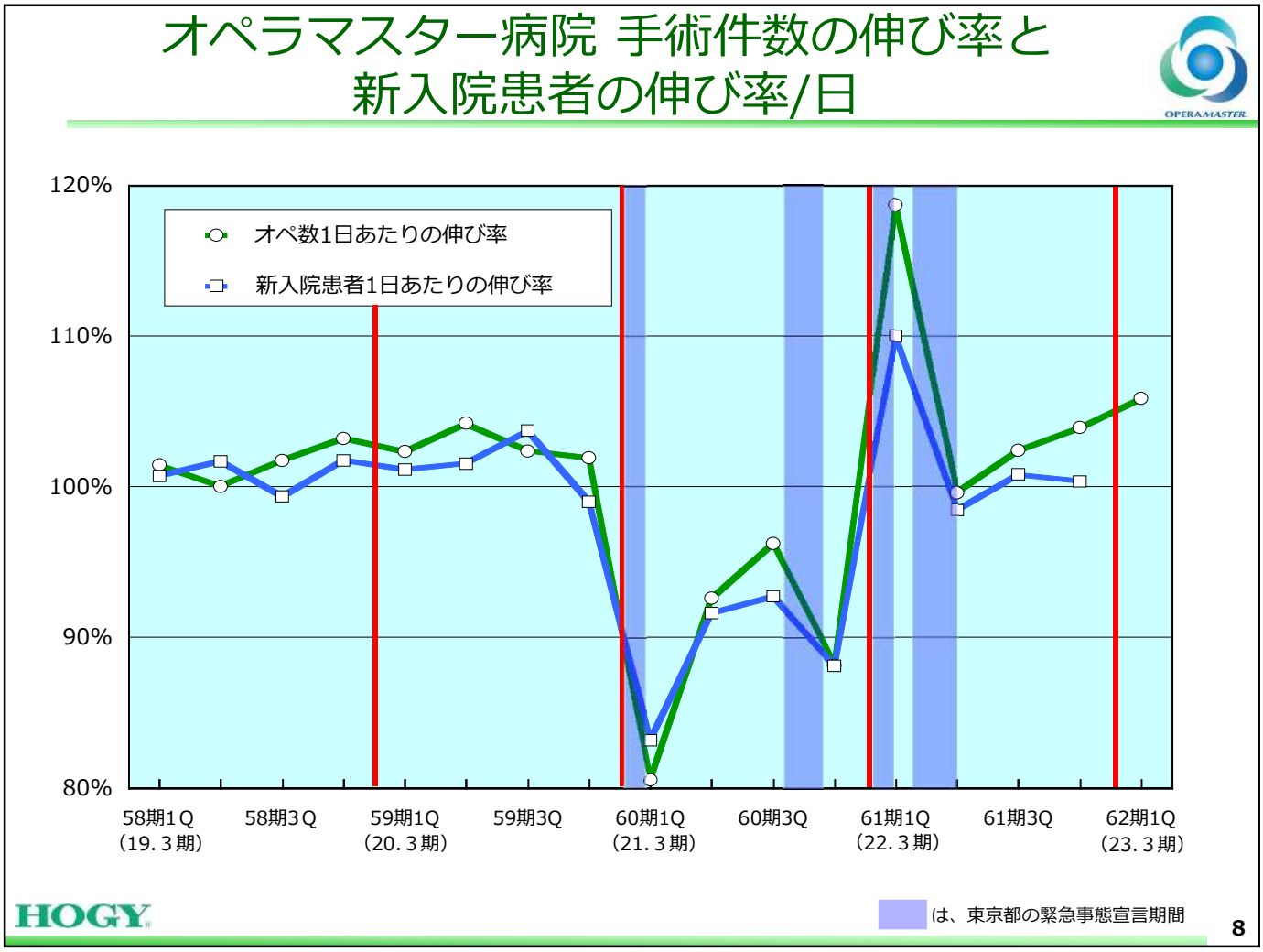
・新規獲得によりキット製品が増収

・不織布（ガウン等の感染防止関連製品）とその他不織布（マスク）は特需の反動減小は前期末でほぼ一巡



（単位：百万円、端数：切捨て）

	60期1Q	2Q	3Q	4Q	61期1Q	2Q	3Q	4Q	62期1Q
KIT コロナ影響等	-820	-430	-390	-410	400	-170	60	60	210
KIT 新規等	124	154	292	184	232	269	248	271	278
KIT 合計	-696	-276	-98	-227	632	99	308	331	488
不織布	-82	226	287	173	-9	-401	-306	-335	-46
その他	117	65	93	-311	-104	-23	-81	163	108
総額	-661	15	282	-365	519	-325	-79	159	551



- 手術件数は回復傾向にあり、コロナ前の水準まで戻りつつある
- 医療機関によって手術件数の回復傾向に差があり２極化が進む

第62期（2023年３月期）第1四半期　ポイント

■市場環境

- ✓ **医療従事者の離職率の増加**
- ✓ 医療従事者の働き方改革に対する議論の再燃
- ✓ コロナ禍において手術件数を増加させ経営改善に取組む医療機関との2極化が進む
- ✓ 医療機関での**機能分化が促進**
- ✓ 手術件数はコロナ前水準まで回復

■決算のポイント

- ✓ プレミアムキットの売上高増加（前年比23.5%増）
- ✓ 手術件数回復により売上高増加
- ✓ 不織布製品の特需反動減が終了
- ✓ 値上げの案内を医療機関に開始
- ✓ 在庫製品の評価影響
- ✓ 円安の影響により原価上昇したが、為替予約による効果で第1四半期は軽微
- ✓ プレミアムキット販売への資源の集中化

第62期（2023年３月期）経営計画

HOGY

第62期（2023年3月期）損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,720		1,941	105.3%
営業利益	6,135	16.7%	6,510	16.8%	374	106.1%
経常利益	6,285	17.1%	6,570	17.0%	284	104.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,370	11.9%	4,570	11.8%	199	104.6%
EPS	153.00円		188.40円			

HOGY

第62期（2023年3月期）損益計算書

■増収増益計画

■売上高

- ✓ プレミアムキットのメインターゲットとなる**全身麻酔症例**を多く行っている施設へ営業資源の集中化を行い、急性期病院として規模が拡大する可能性の高い病院へのアプローチを強化
- ✓ 医療機関での**働き方改革やタスクシフトが進むことによる効率化の促進**

■原価

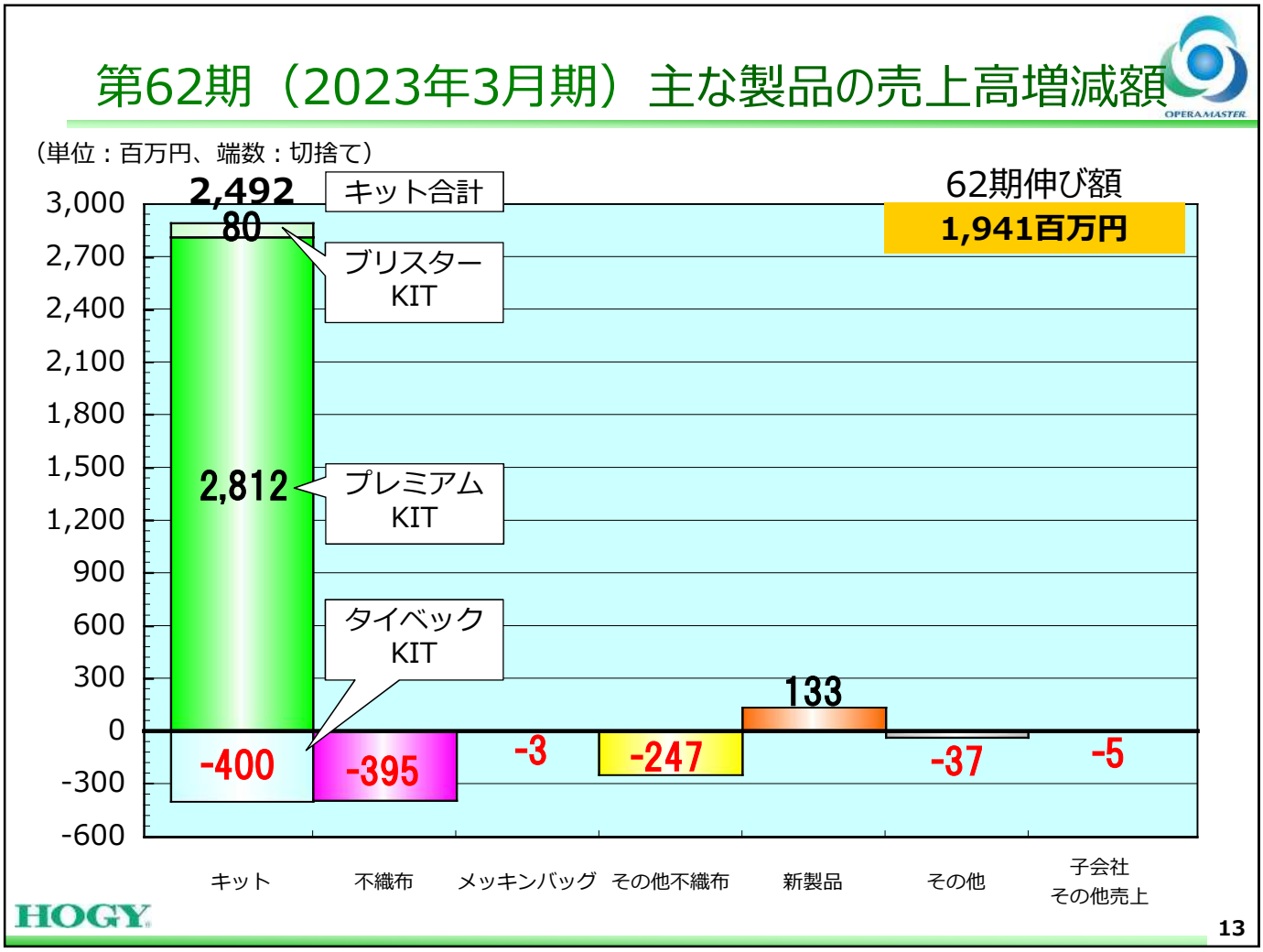
- ✓ **円安進行による原価上昇（第2四半期より一部予約が切れることにで影響度が増加）**
- ✓ 原油価格の高騰、原材料の相次ぐ値上げおよび物流コスト、光熱費等によるコストが上昇
- ✓ 全ての原価上昇要因を企業努力だけでは吸収できず値上げを実施
- ✓ 新工場2期設備を7月より一部稼働開始⇒年内開始に変更
- ✓ 製造量増加に伴う生産性の改善
- ✓ P.T.ホギインドネシアでの生産性改善

■販売管理費

- ✓ 販売管理費は営業活動促進に関わる費用に集中

■その他

- ✓ 配当を通期で2円増配し70円とする



■キット製品：プレミアムキットの新規獲得と前期の新型コロナによる売上減少の反動をうけ増加

■不織布製品：コロナ前の市場環境にもどる

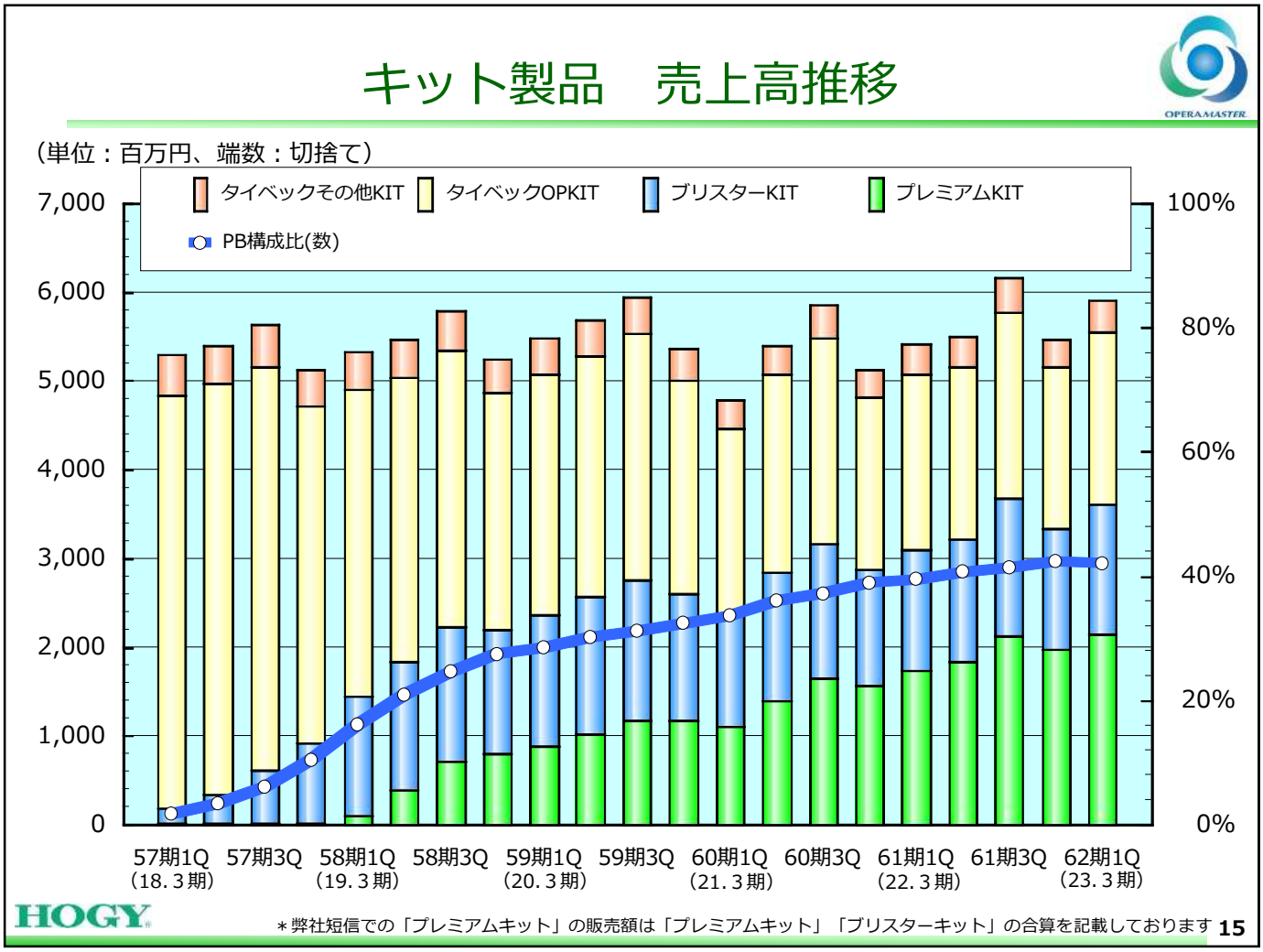
■その他不織布製品：高機能マスクの特需の反動減

（単位：百万円、端数：切捨て）

	61期実績	62期計画
キット　コロナ影響	350	550
キット　新規等	1,020	1,940
キット　合計	1,370	2,492
不織布	-1,052	-395
その他	-43	-155
総額	273	1,941

実績の詳細

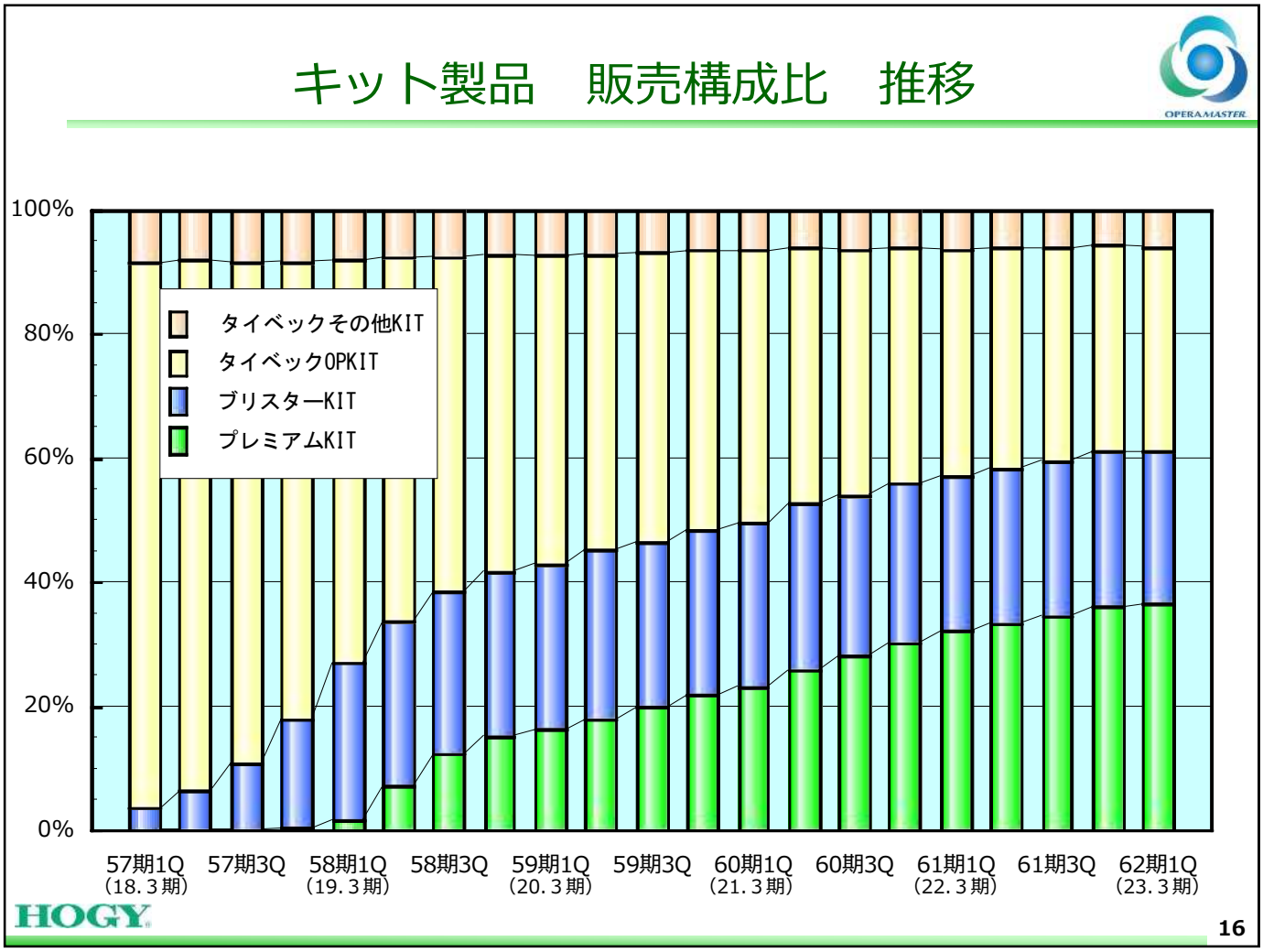
HOGY



・プレミアムキットの販売に注力した結果、プレミアムキットとブリスターキット合計の数量構成比は4割を超過

・62期第1四半期　前年同期比

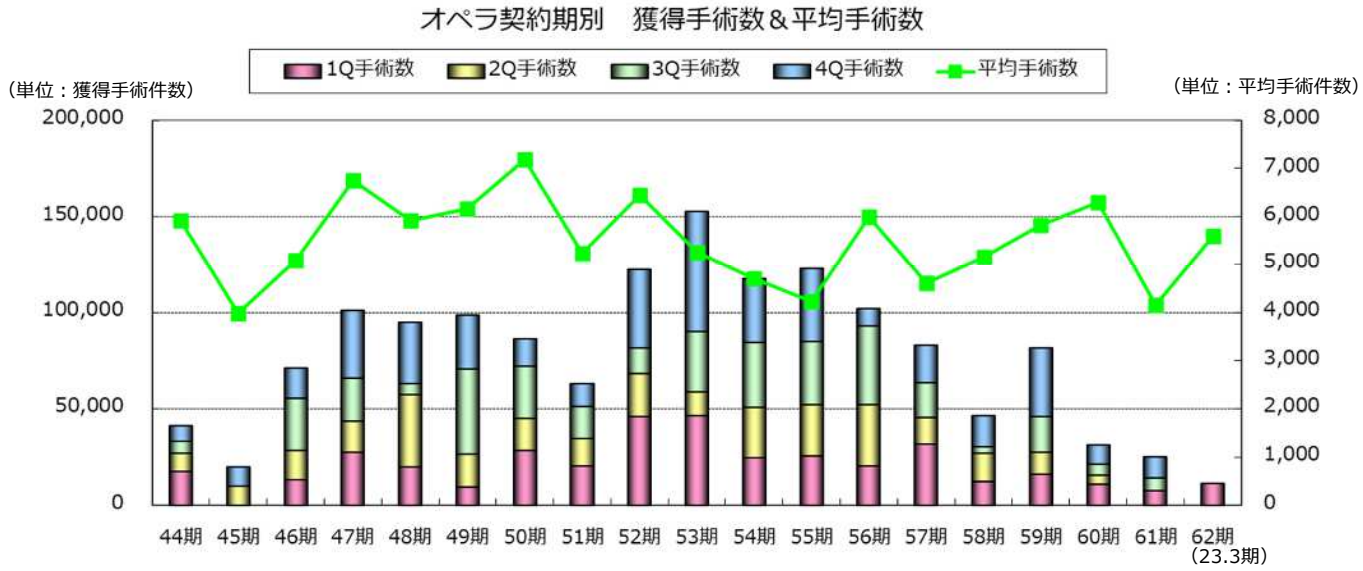
- ✓ プレミアム、ブリスター：＋512百万円、116.5%
- ✓ タイベックキット　　：　△24百万円、　98.9%



・タイベックOPキットの割合が減少し、プレミアムキットとブリスターキットの売上高が伸長し割合が増加

オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高　　：3,947百万円（前年比　332百万円：　109.2%）
62期契約施設数　：新規 2施設
累計契約施設数　：270施設



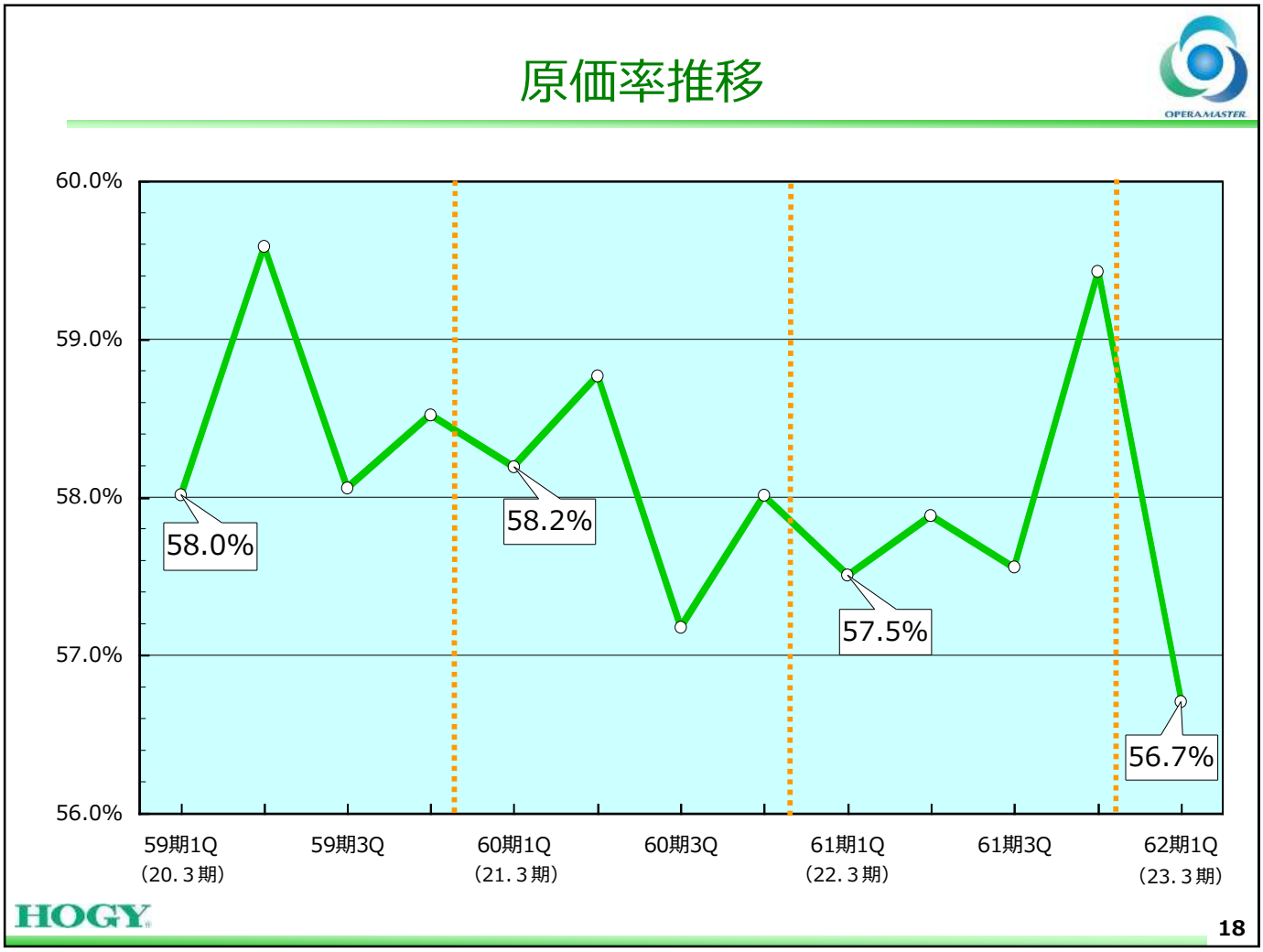
HOGY

17

・62期新規契約病院2件（DPC特定病院群（旧Ⅱ群）：2件）

・62期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は5,600件

・オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力



・在庫製品の評価影響

・為替の影響は軽微（第1四半期はドル購入の半分が為替予約のため、２Ｑより予約が減少）

・新工場償却費の減少

償却合計　：904百万円（前年比：105百万円減)

・原価　　：739百万円（前年比：　68百万円減）

・販管費　：165百万円（前年比：　36百万円減）

第61期（2022年３月期）第１四半期損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期１Ｑ実績		23.3 62期１Ｑ実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	8,895		9,447		551	106.2%
売上原価	5,115	57.5%	5,357	56.7%	241	104.7%
売上総利益	3,780	42.5%	4,090	43.3%	310	108.2%
販売費及び一般管理費	2,287	25.7%	2,232	23.6%	△55	97.6%
営業利益	1,492	16.8%	1,857	19.7%	365	124.5%
営業外損益	2		△14		△16	
経常利益	1,495	16.8%	1,843	19.5%	348	123.3%
特別損益	△1		△0		1	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,089	12.2%	1,304	13.8%	214	119.7%
EPS	36.65円		53.77円			

主な増減科目	前年比
人件費	19
旅費交通費	9
減価償却費	△36
試験研究費	△41

HOGY

19

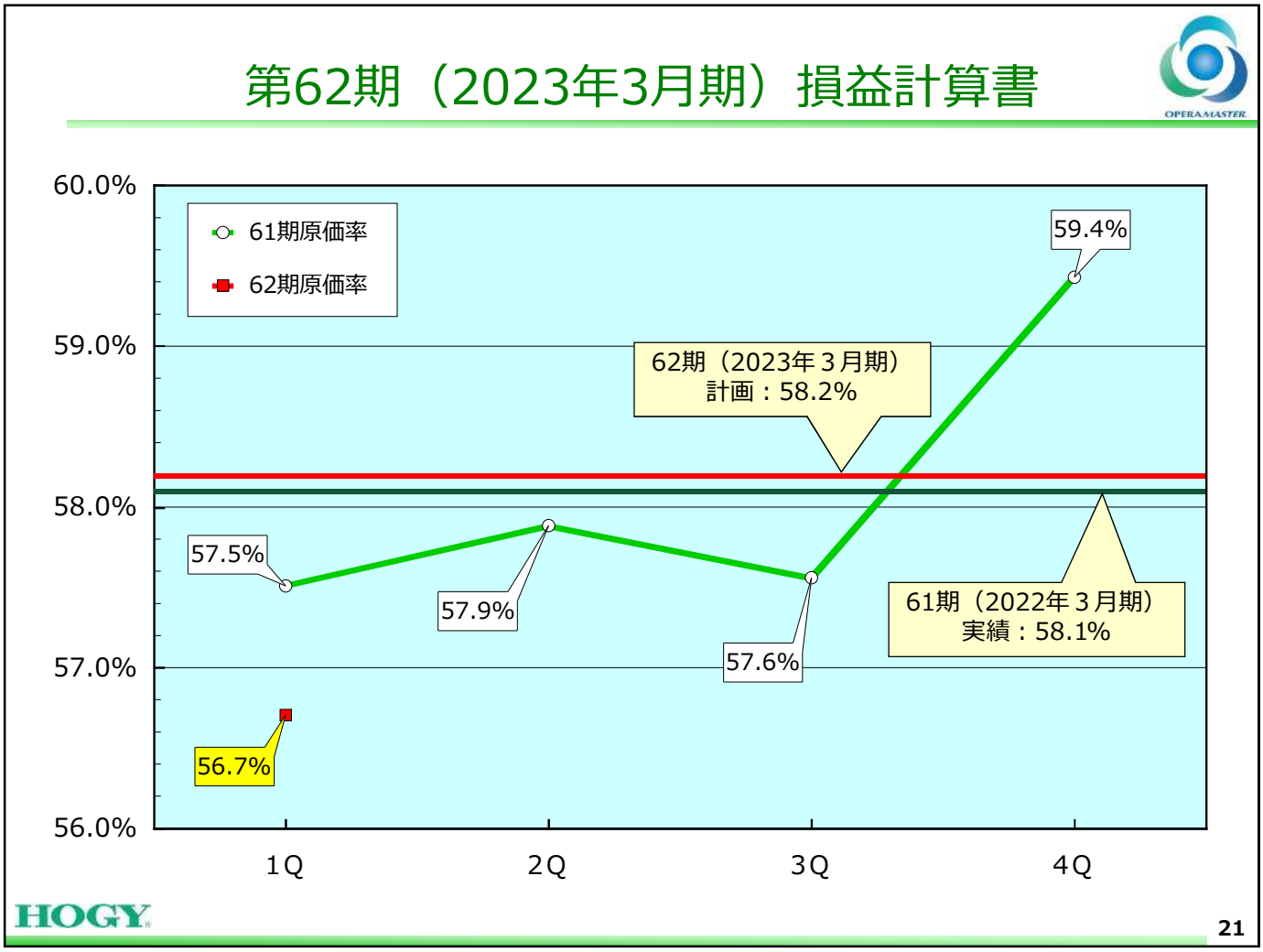
・販売管理費：2,232百万円(△55百万円)

✓ 試験研究費：費用計上タイミングの影響

・設備投資：354百万円(内新工場追加：33百万円)

第61期（2022年３月期）経営計画

HOGY



・新工場償却費の増加

償却合計：4,449百万円（前年比：334百万円増）

・原価　　：3,590百万円（前年比：281百万円増）

・販管費　：　859百万円（前年比：　53百万円増）

・新工場第2期：一部設備の取得を開始

・生産量増加による生産性の改善

・コーポレートレート：120円

第62期（2023年3月期）損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,720		1,941	105.3%
売上原価	21,361	58.1%	22,540	58.2%	1,178	105.5%
売上総利益	15,416	41.9%	16,118	41.8%	763	105.0%
販売費及び一般管理費	9,281	25.2%	9,670	25.0%	388	104.2%
営業利益	6,135	16.7%	6,510	16.8%	374	106.1%
営業外損益	150		60		△90	
経常利益	6,285	17.1%	6,570	17.0%	284	104.5%
特別損益	0		-		△0	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,370	11.9%	4,570	11.8%	199	104.6%
EPS	153.00円		188.40円			

主な増減科目	前年比
見本費	62
減価償却費	53
荷造運搬費	47
試験研究費	41
旅費交通費	34

HOGY

22

・販売管理費：9,670百万円(388百万円)

✓ 旅費交通費・見本費：活動量の増加

・設備投資：2,520百万円(内新工場追加：1,410百万円)

ご参考資料

HOGY

各種キットの定義について

	プレミアムキット	ブリスターキット	タイベックキット（従来キット）
生産場所	新工場（ムルチ） 		筑波、美浦
製品形状	手技に合わせて小分けの パッケージにムルチ包装		不織布で包み 滅菌バッグにて包装
安全性	自動化生産によるメリット （入れ間違え、異物混入大幅削減）		従来通り
基準	１症例に必要な材料の 80%以上	１症例に必要な材料の 80%～30%	使用材料の少ない症例 材料の30%未満

HOGY

2022年７月15日（金）

第62期（2023年３月期）
第１四半期決算説明会

（2022年４月１日～2022年６月30日）

代表取締役社長　最高経営責任者（CEO）　保木　潤一
取締役　管理本部長　川久保　秀樹

HOGY